



平成 30 年 7 月 23 日

「アフリカ・サヘル地域の青少年に対する教師教育を通じた平和構築と過激化抑制及び支援」日本での研修開始
アフリカ紛争国から 28 名の研修員が東京・広島を訪問

広島大学は「アフリカ・サヘル地域の青少年に対する教師教育を通じた平和構築と過激化抑制及び支援」事業で、アフリカ紛争国から研修員を受け入れます。本事業はユネスコ・アフリカ能力開発国際研究所（IICBA）からの依頼によるもので、アフリカ・サヘル地域 12 か国からアフリカ連合高官、教育行政官など 28 名が来日します。

アフリカ大陸東西に帯状に延びサハラ砂漠南縁部に位置するサヘル地域は、持続可能な開発目標 (SDGs) として、すべての人々に質の高い教育を提供することを目指すなか、多くの課題を抱えています。子どもたちが十分な教育の機会を得られないことから、国の安定した発展にも重大な支障をきたしています。加えて、近年、異常気象で干ばつと洪水が増え、生活環境の悪化が進み、経済的にも、社会的にも不安定な状況が続いております。

本事業では、質の高い教員能力開発を通じて、平和を愛する若者の育成に貢献することを目的としています。また、広島から平和の尊さに加え、豪雨災害からの復興を学び、悪環境の状況下においても地域の復興に貢献する能力を兼ね備えた教師教育できる人材を養成すること目指します。

研修では、東京と広島に 2 週間ほど滞在します。東京では、アフリカに馴染みのある国会議員、文部科学省、外務省、JICA、上智大学などを訪問します。広島では、広島大学での講義・ワークショップに加えて、広島県庁、広島平和記念資料館、広島市立大学、広島女学院中学高等学校等を訪問します。8 月 6 日には、広島市中区の平和記念公園で行われる平和記念式典へ参列する予定となっています。

1. 日 程 平成 30 年 7 月 25 日 (水) - 8 月 8 日 (水)
2. 場 所 広島大学 他
3. 参加者
 - ・教育行政官 (アルジェリア、エチオピア、カメルーン、スーダン、セネガル、チャド、中央アフリカ共和国、ブルキナファソ、ナイジェリア、ニジェール、マリ、モーリタニア) 23 名
 - ・IICBA 職員 3 名
 - ・アフリカ連合高官ほか 2 名
4. スケジュール 概要は別紙のとおり

【お問い合わせ先】

広島大学教育開発国際協力研究センター 研究員 山根友美
Tel : 082-424-6247 携帯電話 : 080-3875-1567 (期間中のみ)
E-mail : tomomi@hiroshima-u.ac.jp
発信枚数 : A 4 版 3 枚 (本票含む)

研修スケジュール

日時		研修内容	宿泊先
7/25 (水)	夜	来日	東京
7/26 (木)	午前	講義(上智大学)	
	午後	学校訪問(東京都清瀬市立清瀬中学校)	
7/27 (金)	午前	講義(文部科学省)	
	午後	講義(JICA)	
7/29 (日)	終日	東京→広島移動	広島
7/30 (月)	午前	広島平和記念資料館見学・被爆者講話	
	午後	講義(広島市立大学平和研究所)	
7/31 (火)	午前	学校訪問(広島女学院中学高等学校)	
	午後	講義(広島県庁)	
8/1 (水)	午前	講義(広島大学)	
	午後	カントリーレポート・講義(広島大学)	
8/2 (木)	午後	2018年度広島大学平和センター記念国際シンポジウム参加	
8/3 (金)	午前	カントリーレポート・ワークショップ(リフレクション)	
	午後	ワークショップ(平和カリキュラム)・講義(広島大学)	
8/5 (日)	終日	フィールドワーク(宮島訪問)	
8/6 (月)	午前	平和記念式典参加	
	午後	講義(UNITAR) 広島→東京移動	
8/7 (火)	午前	外務省表敬訪問	東京
	午後	報告会(上智大学)	
8/8 (水)	午後	国会議員との懇談会	
	夜	帰国	

一部日程については研修の取材、研修参加者へのインタビューも可能ですので、ぜひご検討ください(通訳は当方で対応可能)。この機会にぜひとも取材いただき、世界の実態を読者に知っていただきつつ、各国の当事者が日本から何を学び、感じ取ったか、さらに日本は何ができるのかを一緒に考えていただく材料としていただければ誠に幸いに存じます。

なお、以下の日程については一般公開しています。

8月1日(水)午後・3日(金)午前 カントリーレポート (広島大学東広島キャンパス)

参加者が出身国における教育制度、平和の現状や政策について発表します。日本では馴染みの少ないサヘル地域の現状を知る機会です。

8月7日(火) 報告会(上智大学との共催)

参加者が、日本から何を学び、感じ取ったか報告します。各国の当事者が日本から何を学び、感じ取ったか、さらに日本は何ができるのかを一緒に考えていただく機会です。

詳細については、以下のウェブサイトに掲載しています。

http://home.hiroshima-u.ac.jp/cice/?page_id=528

Youth Empowerment for Peace and Resilience Building and Prevention of Violent Extremism through Teacher Development for Sahel Countries



アフリカ・サヘル地域の青少年に対する教師教育を通じた平和構築と過激化抑制及び支援

プロジェクト期間：2018年4月から2019年3月まで 予算：50万ドル（日本政府より支援）

対象国：アルジェリア、エチオピア、カメルーン、スーダン、セネガル、チャド、中央アフリカ共和国、ブルキナファソ、ナイジェリア、ニジェール、マリ、モーリタニア

主要目的：教師教育を通じて上記の国々の青少年の平和構築力と困難からの回復力を育成し、同時に過激化抑制に貢献することを目的とする。

達成目標：教員養成機関での研修を通し、教師三千名に平和教育が到達すること、そして十二万名の青少年に効果が波及することを目標とする。

活動タイムライン：

3月	IICBAと日本政府間にてプロジェクト署名。
5月	アフリカ連合（エチオピア、アディスアベバ本部）にて、教育を通じた平和構築及び過激化抑制についてのワークショップを開催。アフリカ連合、アフリカの角及びサヘル諸国の教育省、UNICEF、UNESCO アブジャ、ダカール、ナイロビ、バマコ、ラバト、ヤウンデ事務所、UNESCO-IICBAより関係者が参加し、各々の経験の共有と協議を行う。
6月	活動計画のための打ち合わせ（セネガル、ダカール）。
7月～9月	各国ニーズ・アセスメントの実施と研修計画の策定。
7月	アフリカ連合、平和安全保障委員会にて平和構築のためのユース・フォーラム実施。
8月	東京及び広島へ視察研修。
9月～	- 平和構築のための教師用教材の作成と配布。大学における平和教育支援。 - 教員養成機関指導員等への研修実施。



2018年5月22-23日 教育を通じた平和構築及び過激化抑制についてのワークショップ